

【まとめ】自治体・提携事業者における取組事例について

1. 使用済み小型家電等処理の現状・課題

＜現状＞

- ✓ 使用済み小型家電(家電リサイクル法の家電4品目を除く家電製品)等の多くは、自治体で破碎又は焼却後埋め立て
- ✓ 鉄、アルミ以外の金属の大部分は破棄
- ✓ 選別・処理により有価売却できる小型家電・部位が存在することへの未知

＜課題＞

金、銀など貴金属やレアメタルなどの金属を含有する使用済み小型家電等は、資源の有効利用の観点等から、回収・リサイクルの促進は重要であるが、回収・選別のコストの増大を抑えるための実施方策の検討が必要。

2. 小型家電リサイクルに向けた先進的取組

自治体・事業者が様々な創意・工夫を行うことにより、小型家電等リサイクルに取り組む先進的な取組事例が存在。

自治体

★小型家電の回収における取り組み

- ・小型家電専用の回収ボックスを設置し、委託業者による回収。さらに、複数化、大型化による回収効率の向上、運搬効率の向上を実現
- ・小型家電を資源ごみの品目と位置づけ、定期的な回収や、持ち込み受付の実施など、地域における回収システムを構築

★再資源化に向けた取り組み

- ・収集物の選別作業により、廃棄物から循環資源に転換し、有価資源として売却

★輸送費低減に向けた取り組み

- ・小型・軽小型ダンプの導入により、収集費用を抑えつつ、効率的な収集を実現
- ・分別収集した廃棄物を自治体で一時保存し、一括輸送によるコスト削減

事業者

★小型家電の回収における取り組み

- ・一般家庭で不要となった小型家電等を、ポイント付与による有価で引き取る仕組みの構築(実証中)
- ・一般家庭から破棄される小型家電等の回収を目的とした資源回収コーナーを店舗に併設

★再資源化における高付加価値化に向けた取り組み

- ・収集物を、基板、鉄、アルミ等を多く含有する高品位な部位と、低品位部位に選別することにより、廃棄物を有価資源化
- ・なお、低品位部位はコストをかけず処理するなど、付加できる価値に見合った処理の実施

3. 今後の展開

自治体・事業者の創意・工夫(回収方法・品目、選別・処理・運搬・売却方法等)は、地域の特性等に応じて様々であり、他の自治体等への横展開を図る上では、先進的取組の実態等をより詳細に分析することが必要。

大阪市や丸亀市のように今後小型家電リサイクルに向けた検討を行う動きがあることから、引き続き、小型家電リサイクルに係る先進的取組事例の発掘を進めるとともに、有識者・関係者を交えたより詳細な事例の分析を実施し、他の自治体等への普及を推進。